

令和6年度事務事業評価表

事務事業名	しあわせサービス			担当課	福祉サービス課	事業種別	自主
				担当係	福祉サービス係		
開始年度	平成元年度	計画体系	2 区民同士のたすけあい活動を広げます⇒(1)地域支えあい活動の充実				
根拠法令等	しあわせサービス制度要綱						
事業区分	事業	社会福祉	拠点	在宅福祉事業	サービス	有償在宅福祉サービス事業	
事務事業目的	利用会員として登録した高齢者や障害者、妊産婦等に対し、地域住民の参加と協力による有償の家事援助や簡単な付き添いを行い、助けあい活動の輪を広げ、安心して暮らせるまちづくりを進める。						
実施内容	【事業概要】 家事援助や簡単な付き添いを行う協力会員を派遣する住民参加型有償家事援助サービス						
	【利用会員】 ① 区民からの利用希望の申込みにより、職員が訪問調査を行い、登録の手続きを行う。 ② 職員が登録者の希望内容に沿った協力会員を探し、紹介する。 ③ 援助開始以降は、内容の変更やその他の相談等に対して職員が連絡・調整・対応を行う。 【協力会員】 ① 協力希望者を募集し、説明会を開催。登録の手続きを行う。 ② 協力会員向けの研修会、講演会等を開催。 ③ 初回の顔合わせ時は職員が同行し、援助する内容を三者で確認する。 ④ 援助開始以降は、内容の変更やその他の相談等に、職員が連絡・調整・対応を行う。 【その他】 ① 年会費：利用会員、協力会員ともに600円(年度単位) ② 活動謝礼及び利用料金：1時間以内700円(1時間超は30分単位で350円を加算) ③ 協力会員の交通費：活動1回あたり100円						

指標		指標の根拠	単位	区分	R3	R4	R5
活動	利用件数・活動年数	依頼件数	件	目標	6,840	6,000	6,000
				実績	4,608	4,580	4,314
活動	利用時間・活動時間	依頼時間数	時間	目標	10,200	9,000	9,000
				実績	7,021	6,656	6,187.5
活動	利用会員(利用世帯)	年度末登録人数	世帯	目標	300	300	300
				実績	226	209	199
活動	協力会員	年度末登録人数	人	目標	200	200	200
				実績	140	142	112
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

備考	
----	--

コスト内訳(千円)			R3	R4	R5
収入	特定 財源		4,915	4,659	4,331
			204	198	182
	一般財源 (a)		16,789	17,165	12,811
支出	事業費 (b)		6,718	6,330	5,892
	職員人件費 (c)		15,190	15,692	11,432
		業務量(人)	2.00	2.00	1.45
	間接費 (d)		0	0	0
	調整額 (e)		0	0	0
		退職給与引当	0	0	0
			0	0	0
			0	0	0
トータルコスト (f=b+c+d+e)			21,908	22,022	17,324

単位当たりコスト(円)		R3	R4	R5
単位の定義		活動件数		
実績数値	(g)	4,608	4,580	4,314
単位あたり社協単コスト	(a/g)	3,643	3,748	2,970
単位あたりコスト	(f/g)	4,754	4,808	4,016

実施状況に対する評価	○ 利用の相談数については月により波があるが、利用会員、協力会員ともに減少している。特に妊産婦の利用者減が顕著であるのは、R5に区が始めた「子育て家庭家事サポーター派遣事業」が影響している可能性が高い。 ○ 協力会員については、コロナで休んでいた方がそのまま辞めてしまうケースや収入面を理由に就労を選ぶなどが会員数減に影響を与えている。ただし、協力会員登録者にとっては人の役に立てる機会となっており、活動を通じて本人の生きがいづくりや健康維持、介護予防につながっている。 ○ 65歳未満や障害者手帳が該当しない車いす生活者、引きこもり気味の高齢者など、公的なサービスからは除かれる相談ケースも増えている。これまでのように条件に縛られた相談対応ではなく、このサービスだけではなく他のサービスとも連携しながら、取りこぼさない対応をしていく必要がある。
今後の方向性【改善】	○ 会員増に向けて 利用者へのPRとして、介護保険事業の関係者の集まる機会でのPRするなど他事業や関係機関との連携を模索していく。協力会員については、引き続き、窓口や自宅などでの登録を可とし、登録方法の面倒さをできるだけ解消するよう、事前に説明動画を見てから来所してもらうなど新たな登録方法などを検討していく。また、緊急で利用したい方への対応は、協力会員の早期紹介・早期活動開始につなげて利便性を高める。 協力会員の募集については、家事全般ではなく「得意なことを生かす」という点も強調してPRする。区で実施している「生活介護員研修」や、高齢者総合相談センター、シニア活動支援センターへ元気な高齢者の介護予防という観点からチラシを設置してもらうなどPRを積極的に行っていく。 ○ 新たなサービス 短時間や簡易的なもの、単発の依頼については、新たなサービス設計や生活支援ボランティア事業との統合も視野に入れながら検討する。ワンコイン(500円)で、1回のみ簡易な作業を手伝う、など。